

独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

National Center for Global Health and Medicine
http://www.ncgm.go.jp/

発行 連携医療ネット

住所 東京都新宿区戸山1-21-1

代表 TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

地域医療連携室

直通 TEL 03-3202-8066

FAX 03-3202-1003



連携医療NEWS

Vol.29 11月号

内容

- ・副院長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・先進医療 FDGPET/CTの不明熱診断への応用
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ・連携登録医のご紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
看護通信
- ・個人栄養食事指導のご案内・・・・・・・・・・4
旬の味覚

副院長あいさつ

副院長

橋本 政典



私は戸山からほど近い目白台にあった東大分院外科の出身で平成14年に当院に赴任し広く外科一般の臨床に携わってきました。現在は専門の乳腺外科を中心に診療させていただいております。このたび平成26年4月1日付で副院長を拝命致しました。

私が担当させていただくのは、医療サービス・手術・医療情報・バイオバンク等です。医療サービスでは主に患者さんに対するサービスを担当しております。新棟がほぼ完成しアメニティは向上しましたが、検査室や各科外来の場所の移動などが行われ、患者さんにとって機能的に稼働するまでには今少し時間がかかりそうです。患者さんからお聞きになったこと、またはご自分でお気づきの点がございましたら、サービスの改善に役立てたいと存じますので医療連携室の方まで忌憚のないご意見をいただければ幸いです。改善につながったご意見などホームページ上でお知らせすることも考えております。

当院の手術室は14室ございます。3Dビデオシステムを搭載した腹腔鏡など最新式の設備を備えており、中央

棟低層部の整備でICU,HCUも一層充実し、どのような高度な手術や術後管理にも対応できる体制をしっかりと整えています。また、結核などの感染症に対応した陰圧手術室も備えております。お陰さまで手術数も順調に伸びております。12月には同じ4階にSCUが完成し、救急医療体制もさらに充実いたします。

電子カルテはNECのMegaOakが採用されておりますが、画像保存システムは富士フィルムのSYNAPSE SCOPEを採用しており、同社のC@RNA connectが使用可能です。お申込みいただきますとクリニックからいつでも放射線検査予約ができます。

バイオバンクは6ナショナルセンターが合同で行っているバイオリソースの収集事業です。患者さんの同意の上で生体試料を完全に匿名化し、詳細な臨床情報と共に保管させていただきます。次世代医療のための国家的事業ですので何卒ご理解の程お願い申し上げます。

最後に少し外科の紹介をさせていただきます。当院外科は食道外科、胃外科、大腸肛門外科、肝胆膵外科、乳腺外科などの専門家が勤務しておりそれぞれの分野で最先端の診療を行っております。特に大腸肛門外科の矢野医長は英国で学んだ腹膜偽粘液腫の手術・治療において日本の第一人者であり、この度同疾患の先進医療を開始いたしました。センター病院共々今後とも宜しく願い申し上げます。

連携登録医の先生方へ

シダトレン®スギ花粉舌下液を処方される先生で、当院を救急搬送先の医療機関として登録を希望される先生は医療連携室までご連絡ください。
医療連携室（直通）03-3202-8066

先進医療 FDGPET/CTの不明熱診断への応用

放射線核医学科長

窪田 和雄



当院の核医学検査室では、定番の骨シンチグラフィや甲状腺シンチグラフィなど一般核医学検査と共に、PET/CT検査に力を入れています。糖代謝を診断する短寿命放射性薬剤¹⁸F-FDGを静脈注射し1時間後に放射性薬剤の分布をPET/CTで画像化するのがFDGPET/CT検査です。悪性腫瘍の診断に有用で保険適応（表参照）となり全国約330のPET施設で診療や検診に活用されています。

実は悪性腫瘍だけでなく炎症病巣も糖代謝が盛んでFDGが集まります。これはがん診断に際しては邪魔者ですが、これを積極的に炎症診断に活用するのが本研究です。私どもは原因不明の発熱性疾患の熱源病巣診断にFDGPET/CT検査を応用するために、先進医療Bの承認を取得し臨床研究を開始しました。十分な症例収集のため、全国多施設共同研究も開始準備中です。

先進医療とは

新しい医療技術のうち、厚生労働省の先進医療会議において安全性、倫理性、有効性などを審査し承認された新技術で、一定の条件を満たす病院で実施されます。これは、保険承認の前段階と考えられており、適応も施設も実施方法も限定された治験に準ずる臨床研究で、ここで得られた成績をもとに保険承認申請が可能とされています。

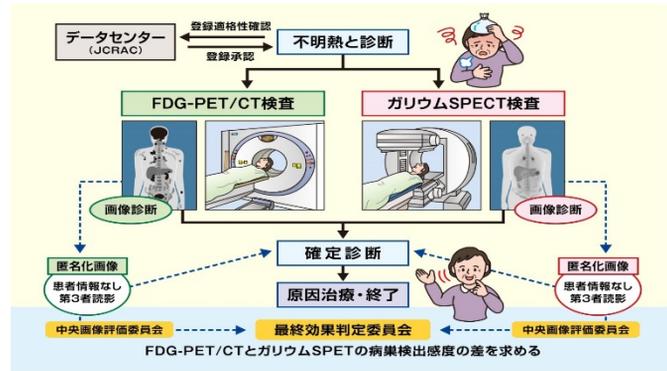
承認を得た先進医療は、費用の扱いが保険診療とは別になり、保険診療との混合診療が可能になります。また、包括医療からはずれます。

先進医療の名称と概要

「FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断」

38℃以上の高熱が2週間以上つづき、ひととおり検査しても診断がつかない不明熱の患者さんに、従来の画像検査に加えて、先進医療であるFDG PET/CT検査を実施し、熱源診断の精度向上を図ります。

対象疾患	不明熱（画像検査、血液検査および尿検査により診断が困難なものに限る。）
算定開始年月日	平成26年6月1日
料金	73,250円（研究費による補助あり）
実施診療科	放射線核医学科
当院分担当診療科	総合診療科、救急科、膠原病科、感染症科、エイズ治療・研究開発センター



先進医療を受診するには

この先進医療には、受けるための基準（適格基準、除外基準）があります。これらの基準の確認のため、不明熱に該当すると思われ、受診を希望される方は、総合診療科外来を受診し、診察を受けてください。

注意：この先進医療は、上の図に示すような一連の診療のなかで実施されるものです。FDGPET/CT検査だけを受けることはできません。

問い合わせ先

総合診療科外来：03-3202-7181

担当 國松淳和医師（不在の場合、渡邊梨里医師）

放射線核医学科受付：03-5273-6881（直通）

担当 窪田和雄医師

保険診療のFDGPET/CT検査について

保険診療の、FDGPET/CT検査、核医学検査につきましてはこれまでと同様、画像検査への患者さんのご紹介を承っております。病院ホームページの医療関係の方へ、画像検査のご案内、または放射線核医学科のホームページをご参照ください。

(表) FDGPETの保険適応

てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者
心疾患	虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアピリティ診断、および、心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断
悪性腫瘍（早期胃がんを除く）	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者。および、悪性リンパ腫の治療効果判定。

連携登録医のご紹介

早稲田クリニック

小西 洋之 先生



当クリニックは1976年に地下鉄東西線早稲田駅近くに小西建吉院長が開院し、2012年より私が副院長として就任しております。開院以来、地域密着のかかりつけ医として患者さんの生活を支える医療を実践して参りました。院長と非常勤の荻野幹夫医師が医療センター出身でもあり、非常に多くの患者さんをご紹介し大変お世話になってきました。現在も緊急の無理なお願いから専門外の些細なご相談まで丁寧に診療していただき暖かいご返信、ご指導をいただき大変感謝しております。

私は消化管を中心に研鑽を積んで参りましたので、質の高い内視鏡検査（上部のみ、経鼻内視鏡対応）を心がけ、腹部エコー等も駆使して消化器疾患の専門的な診療を行っております。C@RnaによるCT、MRI検査の連携は、あたかも自院での検査のような手軽さから患者さんにも評判で、迅速な診断と治療方針決定に有用です。外科カンファでのフィードバックも大変勉強になり、顔の見える連携の一助にもなっております。

一方、かかりつけ医、総合内科専門医として生活習慣病の管理や内科全般の診療、認知症のケアなど高齢者診療、通院不能になった方の往診、訪問診療にも力を注いでおります。患者さんに寄り添い、ホッと安心できるような医療を提供していきたいと考えています。

今後も医療センターの先生方と二人三脚で地域医療に貢献していく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

診療科 内科 消化器内科 胃腸内科 整形外科
住所 新宿区馬場下町10 早稲田1stビル2F
電話 03-3208-2007
FAX 03-3208-1587

受付時間 内科 月・土 8:00~11:00
火~金 8:00~11:00
14:00~16:00
整形外科 水 10:00~12:00
14:00~15:30
金 10:00~12:00

休診日 第2土曜日午前・第1、3、5木曜日午後・日曜日・祝日

交通 東京メトロ東西線 早稲田駅出口2から徒歩1分
ホームページ <http://www.waseda-clinic.com>



看護通信

外来治療センターは平成26年5月7日に新外来棟移転に伴い、旧外来治療室の14床から化学療法室27床、処置室4床、診察室4室、相談室4室、がん登録室、無菌調剤室を備えて新たにオープンしました。治療の実施だけでなく化学療法に関連するオリエンテーションや在宅療養支援、看護相談、がんカウンセリング等も積極的に行っています。スタッフは竹田外来治療センター長（第三呼吸器内科医長兼任）、小島副センター長（第四消化器内科医長兼任）をはじめ、日々の当番医の医師、がん化学療法看護認定看護師1名含む看護師11名、外来クラーク1名で構成されています。現在8割稼働ですが、患者さんが安心して治療や検査が受けられるように、安全で居心地のよい看護を心掛けています。

治療中の心配事、相談事、お気軽にお声かけ下さい。

外来看護師長 加世田 久美子



お知らせ

☆例年通り年末年始期間の入院患者一時受け入れ（レスパイト入院）を行います。詳細については、追ってご案内いたします。

☆「不明熱外来」という専門外来を設けました。紹介目的が不明熱精査・発熱精査などによる場合には、「不明熱外来」枠で予約をお入れできます。予約・お問い合わせは医療連携室までご連絡下さい。

医療連携室（直通） 03-3202-8066

地域医療連携 個人栄養食事指導のご案内

〔ポイント〕 当院に通院をされていない方へ、個人栄養食事指導のみを支援致します。

各個人の生活環境や生活リズム、仕事などのライフスタイルに応じた、実行しやすく継続でき、効果のある指導をいたします。お気軽にご利用下さい。

〔対象疾患〕 糖尿病・肝臓病・脂質異常症・腎臓病・心臓疾患・高血圧・高度肥満症・消化器手術後・潰瘍性大腸炎・クローン病・鉄欠乏性貧血・摂食/嚥下障害等

〔初回ご予約の手順〕

① 個人栄養指導のご依頼は、地域医療連携室にて平日8:30～17:15の間で受け付けております。

診療申込書は前日15:00までとなっております。

TEL：03-3202-8066（直通） FAX：03-3202-1003（直通）



② その場で予約を確定します。

* 指導時間：平日（月曜日～金曜日）9：00～16：00まで（最終受付 15：30）



③ 紹介元医療機関より、患者さんにご予約日時をお伝えしていただき、紹介状（診療情報提供書）等をお渡しく下さい。



④ 当日、患者さんは紹介状（診療情報提供書）、保険証等をご持参していただき、予約時間の前までに初診受付窓口で手続きを済ませてください。

※詳しい内容は、当センターのホームページをご覧ください。

旬の味覚 春菊（しゅんぎく）

管理栄養士
栗田 裕美



春菊とシメジの煮浸し

＜作り方＞

- (1) 春菊は水洗いして根元を切り落とし、長さ3cmに切る。シメジは石づきを切り落とし、小盾に分ける。
- (2) 鍋にだし汁、調味料を入れ、火にかけて煮たらシメジを加える。
- (3) ひと煮たちしたら春菊を加え軽く煮て器に盛る。（冷やしても美味）

＜材料(2人分)＞

春菊 60g シメジ 40g
だし汁 150ml
酒 大さじ1.5 みりん 小さじ1
砂糖 小さじ1.5 塩 小さじ1/3
しょうゆ 小さじ2

独特な香りが特徴の春菊。春に花が咲く菊ということから「春菊」と呼ばれ、関西では、菊の葉に似ていることから「菊菜」と呼ばれることもあります。通年手に入りますが、茎や葉の軟らかい旬は、11月～2月です。

骨を生成する上で欠かせない成分であるカルシウム、マグネシウム、リン、鉄分などのミネラルやビタミン類が豊富に含まれています。

調理法は、鍋料理をはじめ、茹でて和え物やおひたし、炒め物、天ぷらなどの揚げものと、いろいろな料理を楽しむことができます。

外来診療時間 8：30～17：15

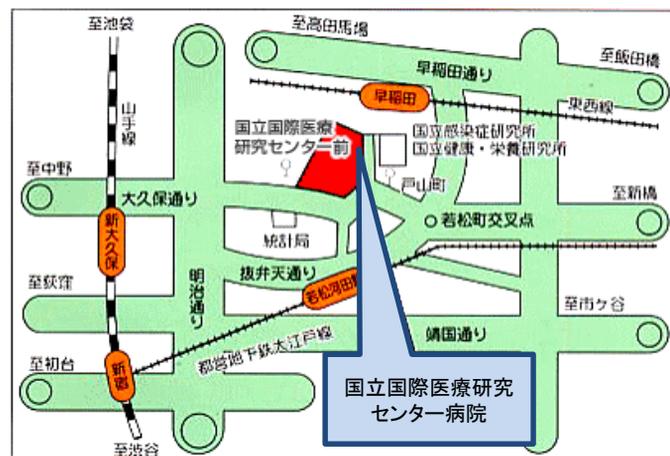
・初診受付 紹介状が無い場合 8：30～11：00
紹介状が有る場合 8：30～14：00

ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科の6科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。

・休診日 土・日・祝日・年末年始

アクセス

- ・都営地下鉄 大江戸線「若松河田駅」より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「早稲田駅」2番出口より徒歩15分
- ・JR大久保駅又は新大久保駅より都営バス「新橋」行 国立国際医療研究センター前 下車
- ・新宿駅西口より都営バス「医療センター経由女子医大」行 国立国際医療研究センター前 下車



独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038 ホームページ <http://www.ncgm.go.jp/>

